主要施策の成果説明書

一般会計

款	議会費	項	議会費

事業名	議会放映関係事業						
施策の大綱名	行財政改革の推進と市民サービスの向上						
決算額	2,351千円	財源内訳	国県支出金等		一般財源	2,351千円	

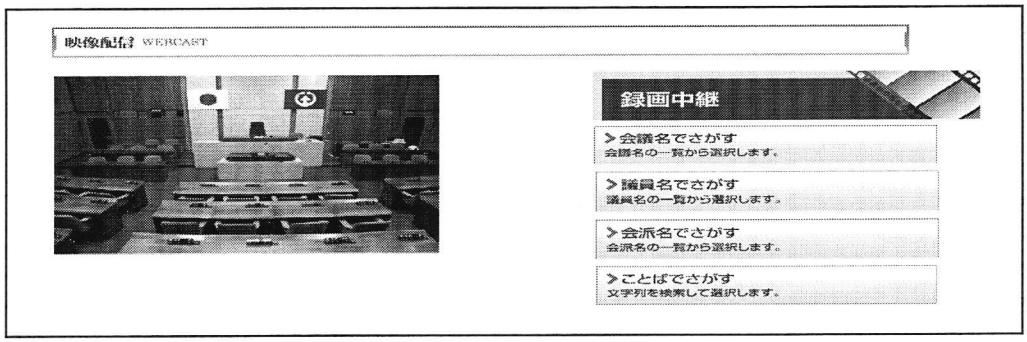
【施策の概要】

開かれた議会運営を目指す取組の一環として，本市議会本会議の録画映像をケーブルテレビで放映し，及びインターネットで配信しました。

ケーブルテレビでの放映については，平成23年度まではＪ－ＣＯＭ土浦により無料放映されていましたが，平成24年6月市議会定例会からは，同社に放映業務を委託しての有料放映となりました。放映する内容は，年4回開催される定例会本会議の模様で，全日程を60分枠ごとの番組に分割編集して，招集日の翌週の月曜日から毎日午後10時の番組として放映しています。

インターネット配信についても，ケーブルテレビでの放映と同様に，平成24年6月市議会定例会から開始したもので，ケーブルテレビ放映用の映像データを使用して，本会議の3日後には配信を開始し，誰でもインターネットを通して閲覧できるようになりました。

なお，映像データは，5年間蓄積され，「会議名」，「議員名」，「会派名」，「質問項目の文字」のいずれかで検索し，必要な映像だけを選んで再生することができます。



インターネット配信・検索画面

［アクセス件数・平成24年6月～平成25年5月］　（単位：件）

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	計
件数	515	49	40	278	38	28	275	98	26	241	87	77	1,752

［経費内訳］　（単位：千円）

業　務	科　目	金　額	摘　要
土浦市議会定例会録画放映業務	委託料	1,575	土浦市議会定例会録画放映業務委託料（土浦ケーブルテレビ）
土浦市議会インターネット録画放映業務	役務費	67	本会議映像インターネット配信利用料（ＮＴＴ東日本茨城支店）
	使用料及び賃借料	630	土浦市議会インターネット議会中継システム使用料（大和速記情報センター）
	工事請負費	79	本会議映像インターネット録画配信に係る議場ＬＡＮ整備工事（エース電機）
	合　計	2,351	

【施策の成果】

情報メディア技術は，日々進歩しており，ケーブルテレビやインターネットでの議会映像の配信は，今後，より身近な電子機器を使っての閲覧が可能になるものと推測されます。現時点では，市議会映像のテレビ視聴者やネットへのアクセス件数は，多くはない状況にありますが，市民の議会への関心が高まる中で，開かれた議会運営を推進していくために議会の映像を積極的に提供することは，欠くことのできない住民サービスの一つであり，更に充実・発展させていく必要があります。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	広報広聴推進事業					
施策の大綱名	市民と行政が一体となった協働のまちづくり					
決算額	635千円	財源内訳	国県支出金等		一般財源	635千円

【施策の概要】

① 大学との連携事業として，市の情報番組「マイシティつちうら」の市民アナウンサーにつくば国際大学の学生を加えることにより，より幅広い層に親しんでいただける番組作りに努めました。また，学生ならではの感性を活かして，子ども模擬議会で要望のあった，市ホームページに小学生が楽しみながら検索することができる「キッズサイト」を作成しました。

学生アナウンサー

キッズサイト

② 市民との協働のまちづくりの一環として，市民からの市政に対する意見・提言を市長が直接聴き，市政に反映させることを目的に，各中学校地区を対象に「まちづくり市民懇談会」を開催しました。

・開 催 日　平成24年6月21日（木）～平成24年10月16日（火）
・開催時期　午後7時～9時
・開催会場　各地区公民館（8会場）
・参加者数　416人（全地区）
・市出席者　各会場24人（市執行部及び事務局）

まちづくり市民懇談会の様子

【施策の成果】

学生ならではの感性を活かした情報発信により，若者や子どもからも関心を持っていただくことができました。また，市民懇談会では，各地区の市民の方から貴重な意見や提言をいただき，市政に反映することができました。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	補助金等の見直し事業						
施策の大綱名	行財政改革の推進と市民サービスの向上						
決算額	289千円	財源内訳	国県支出金等		一般財源	289千円	

【施策の概要】

外部委員で組織する補助金等検討委員会において，平成24年度に予算化されている全補助金165件について，委員会の会議を全て公開し，個々の補助金についての現状分析や必要性，妥当性などについて様々な視点から審査し，検証しました。

このうち，審査を要した補助金116件について，不要10件，要改善60件，継続46件とする提言書が提出されました。

[補助金等検討委員会]

第1回	平成24年 7月 6日（金）	補助金の現状及び委員会の進め方等の検討
第2回	平成24年 7月31日（火）	検討方法及び審査対象の選別，評価方法等の検討
第3回	平成24年 8月23日（木）	包括審査，個別審査
第4回	平成24年 8月27日（月）	個別審査
第5回	平成24年 8月28日（火）	個別審査
第6回	平成24年10月15日（月）	審査結果の再検証及び提言書案の検討
提 言	平成24年10月22日（月）	提言書提出

[平成25年度 補助金等見直し結果一覧（不要・要改善判定のもの）]　（単位：千円）

H25予算措置状況 ＼ 検討委員会結果		H24予算額	H25予算額	増減額 (H25－H24)	廃　止 件数	減　額 件数	継　続 件数
不　要	10 件	2,120	450	▲ 1,670	6 件	1 件	3 件
要改善	60 件	237,119	230,271	▲ 6,848	3 件	9 件	48 件
計	70 件	239,239	230,721	▲ 8,518	9 件	10 件	51 件

[主な見直しの概要]

土浦市補助金等検討委員会提言を受けて，不要・要改善70件については，9件を廃止，10件を減額見直し，また，継続する51件についても，補助金交付基準や対象経費の明確化及び整理統合など各事業について見直しを行いました。

補助金等検討委員会（個別審査）

【施策の成果】

現行の補助金について，第三者の立場で検討し，補助金の透明性・公平性等の確保，整理合理化を行うことにより，行財政改革の推進に寄与しました。

補助金制度は，市が政策目的を達成するための重要な手段の一つでありますが，その財源は税金であるという視点に立って，今後も，内容等の積極的な見直しを行いながら，当委員会の提言を反映しつつ，補助金制度の更なる充実を図っていきます。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	新庁舎整備事業
施策の大綱名	行財政改革の推進と市民サービスの向上

決算額	1,506,185千円	財源内訳	国県支出金等	1,484,860千円	一般財源	21,325千円

【施策の概要】

◆土浦市新庁舎整備基本構想　　委託料　4,515千円（平成23年度繰越分）

平成23年度から審議を重ねてきた新庁舎整備の指針となる基本構想のパブリック・コメントを実施し，庁舎建設審議会での答申を受けて策定しました。

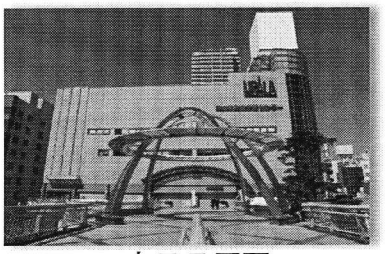
意見聴取方法	人数	件数
パブリック・コメント	21人	95件

◆新庁舎候補地としてウララの購入（地下1階から4階）

公有財産購入費　1,484,860千円

（単位：㎡）

銘柄	面積(登記簿面積)	備考
土地	5,878.25	
建物	34,993.47	ｳﾗﾗﾊﾟｰｷﾝｸﾞ，ｳﾗﾗⅢﾀﾜｰﾊﾟｰｷﾝｸﾞを含む。



ウララ正面

◆土浦市新庁舎整備基本計画　　委託料　4,410千円

新庁舎整備基本構想で示した基本理念及び基本方針を踏まえ，整備について7つの建設方針と2つの機能(市民に開かれた議会，駐車場・駐輪場の整備)をコンセプトに掲げ，各フロアの概略と事業スケジュール，概算工事費などをまとめた土浦市新庁舎整備基本計画を策定しました。

策定に当たっては，職員で組織された専門部会及び検討委員会での協議のほか，オープンハウス及びパブリックコメントを通じて市民の皆様からの御意見をいただきました。

意見聴取方法	人数	件数
パブリック・コメント	7人	19件
オープンハウス	234人	234件

ウララでのオープンハウスの様子

◆検討委員会関連経費及び管理組合負担金等　　12,400千円

【施策の成果】

現在の庁舎の課題である施設の老朽化，狭あい化及び分散化に対応するとともに，市民サービスのなお一層の向上を図ることを目的とした新庁舎の早期整備に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費

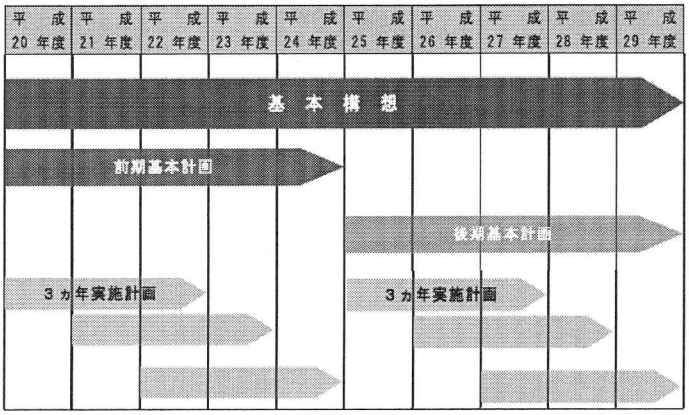
事業名	第7次土浦市総合計画後期基本計画策定事業				
施策の大綱名	市民と行政が一体となった協働のまちづくり				
決算額	6,002千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	6,002千円

【施策の概要】

第7次土浦市総合計画の前期基本計画が平成24年度に満了することから，平成25年度から平成29年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画を，平成23・24年度の2か年で策定しました。

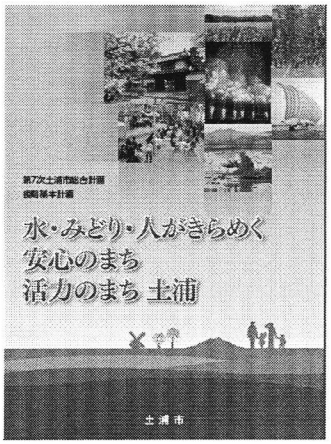
後期基本計画では，市民のニーズや次代の要請に留意しながら，分野横断的な4つの戦略プラン「つちうら戦略プラン」を掲げ，施策・事業を重点的かつ優先的に推進することで，総合計画の基本理念及び将来像「水・みどり・人がきらめく　安心のまち　活力のまち　土浦」の早期実現を目指します。

つちうら戦略プラン
「つ」つなぐ・つたわる・つくりだす
　　安心・安全戦略プラン
「ち」地域力・市役所力
　　パワーアップ戦略プラン
「う」うるおいと活力が調和する
　　暮らしの「質」向上プラン
「ら」らしさが光る
　　オンリーワン戦略プラン



○総合企画審議会の開催状況

第1回	平成24年 2月16日（木）	後期基本計画策定方針等
第2回	平成24年 5月23日（水）	土浦市の現状と課題，計画目標，計画推進の基本姿勢及び施策の大綱
第3回	平成24年 8月21日（火）	後期基本計画(素案)
第4回	平成24年11月21日（水）	後期基本計画(案)，つちうら戦略プラン(案)，財政計画(案)
第5回	平成25年 2月 6日（水）	答申（案）
	平成25年 2月14日（木）	市長の諮問に対する答申



○第7次土浦市総合計画後期基本計画及び概要版作成部数

・計画書　　600部
・概要版　57,000部

※概要版は平成25年5月1日付で市内全戸に配布
※計画書は1部2,000円で頒布

【施策の成果】

第7次土浦市総合計画後期基本計画の策定により，これから5年間に重点的かつ優先的に進めるべき施策・事業等の方針を示しました。今後は，後期基本計画で掲げた「つちうら戦略プラン」の展開を図ることで，市の将来像である「水・みどり・人がきらめく 安心のまち 活力のまち 土浦」の実現を目指します。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	土浦市イメージアップ戦略事業						
施策の大綱名	市民と行政が一体となった協働のまちづくり						
決算額	1,057千円	財源内訳	国県支出金等	630千円	一般財源	427千円	

【施策の概要】

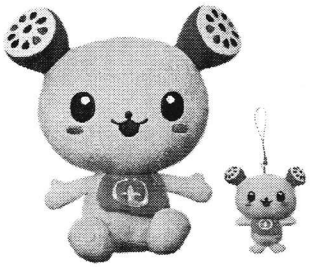
○広報戦略プランの作成

情報の入手や発信手段の多様化など情報化社会の変化に的確に対応しながら，「市民満足度の向上」と「快適で安心・安全な日本一住みやすいまち」の実現に向けた広報の役割を明確にし，職員一人ひとりが共通の認識を持ちながら，組織的かつ体系的に情報を発信していくことで，質の高い広報活動を展開しました。

○市のイメージキャラクターつちまるを活用したＰＲ

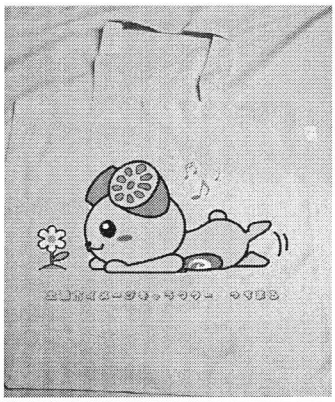
茨城県人会でのＰＲ事業，ゆるキャラサミットへの参加，そして土浦カレーフェスティバルにおいてゆるキャラまつりを地元開催するなど，着ぐるみを活用したＰＲ活動を行いました。また，ぬいぐるみを作成し販売したほか，原動機付き自転車の課税標識（ナンバープレート）にオリジナルデザインを採用しました。さらに，民間企業からもＴシャツ，ポロシャツ，トートバッグなどが発売されました。

第1回ゆるキャラまつり
in土浦



ぬいぐるみ
ぬいぐるみストラップ

課税標識（ナンバープレート）
（平成25年4月より交付開始）



民間企業から発売されたＴシャツ・ポロシャツ・トートバック

【施策の成果】

情報発信に関することをプラン化することにより，職員が共通認識を持って広報活動を展開できるようになりました。また，県外の民間企業からつちまるグッズが発売されるなど，土浦の認知度の向上も図られています。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	男女共同参画推進事業				
施策の大綱名	市民と行政が一体となった協働のまちづくり				
決算額	1,731千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	1,731千円

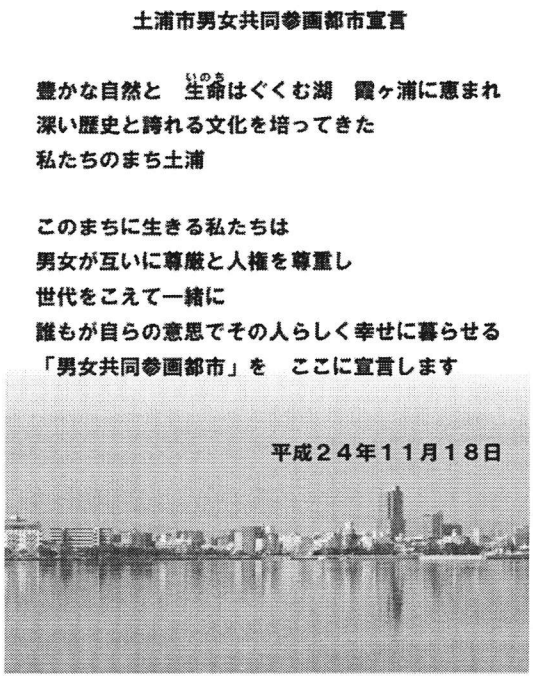
【施策の概要】

女性も男性も，互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い，性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて，「土浦市男女共同参画推進条例」を制定し，平成24年4月1日から施行しました。さらに，気運の醸成を図るため，内閣府との共催による記念式典を行い，「男女共同参画都市」を宣言しました。

①男女共同参画都市宣言の方法
- 市長宣言

②土浦市男女共同参画宣言記念式典の実施
- 期　日　平成24年11月18日（日）
- 会　場　土浦市民会館大ホール
- 主　催　内閣府・土浦市
- 協　力　土浦市女性団体連絡協議会
- 内　容　・宣言文群読
  - 内閣府報告
    「男女共同参画社会をめぐる最近の状況と国における取組について」
    内閣府男女共同参画局総務課総括補佐
    野澤　郁代氏
  - 記念講演
    演　題「自分を生きるということ」
    講　師　ノンフィクション作家
    吉永　みち子氏
- 参加者数　1,000人

③関連事業
- 横断幕の設置
  「男女共同参画宣言都市　土浦市」
- 設置場所　市役所本庁舎



【施策の成果】

記念式典において，男女共同参画都市宣言を行い，さらに，記念式典の内容等を市広報紙・センター情報紙「ウィズユー」へ掲載し，各戸への配布，ホームページへの掲載，横断幕の設置などを行うことにより，広く内外に市政の方向性をアピールし，男女共同参画に対する市民の意識の向上と理解を深める事ができました。

今後も，男女共同参画社会の実現に向けて，市・市民・事業者との協働で様々な施策を計画的に推進していくことが期待されます。

款	総務費	項	総務管理費

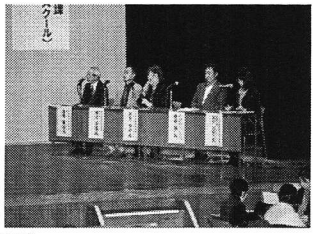
事業名	協働のまちづくり推進事業				
施策の大綱名	市民と行政が一体となった協働のまちづくり				
決算額	1,584千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	1,584千円

【施策の概要】

1　みんなで協働のまちづくりシンポジウム

(1)目的

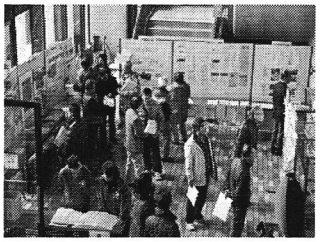
市民一丸となって協働の意識を高め，市民活動を活性化することを目的として，「ひと・まち・世界がつながる～外国人と共に生きる地域づくり～」をテーマにシンポジウムを開催しました。また，協働を実践する取組の一つとして，協働のまちづくりワークショップの成果を発表しました。



パネルトーク

(2)概要

・期日　　平成25年1月26日（土）　午後1時30分～4時30分
・会場　　土浦市民会館大ホール＆ロビー
・入場者数　　450人
・内容
①基調講演 講師　杉田　友司氏（静岡県磐田市自治会連合会会長）
演題　「違いを認め合い共に生きる地域づくり」
②パネルトーク
③事例発表（ワークショップ成果発表）
④ポスターセッション
地区市民委員会，ボランティア団体，ＮＰＯ法人など29団体の皆様が，地域で行う協働の取組をポスターにして紹介しました。



ポスターセッション

2　協働のまちづくりワークショップ

(1)目的

地域社会の抱える課題を共有し，その課題解決について参加者自らが考え，導き出した解決方法に向けて実際の活動を行うことを目的に，ワークショップ（参加型講座）を開催しました。

活動の企画

(2)概要

・期日　　平成24年6月30日～平成25年1月26日
・会場　　市役所会議室ほか
・回数　　全13回　1回当たり3時間
・参加人数　　延べ116人

3　ＮＰＯセミナー

(1)目的

ＮＰＯ法人，ボランティア団体など市民活動団体を支援することにより，市民・行政双方の協働関係を重視した仕組みづくりを進めるため，ＮＰＯ法人等の活動の活性化，組織力発展，新規設立などの組織基盤整備の基本を学ぶことを目的に開催しました。

講座風景

(2)概要

・期日　　平成25年2月13日，20日，27日，3月6日
・会場　　市役所会議室
・回数　　全4回　1回当たり2時間
・参加人数　　延べ66人

【施策の成果】

シンポジウムにおける基調講演・事例発表・ポスターセッションでは，市内の各団体の協働の取組や活動を知ることで，市民と行政の協働によるまちづくりの意識を高めることができました。協働のまちづくりワークショップでは，地域社会の抱える課題を自ら解決する意識が高まり，参加者同士のネットワーク作りにも寄与しました。さらに，ＮＰＯセミナーでは，これからＮＰＯ法人を立ち上げようとする方，活動に興味のある方などに対して，ＮＰＯ設立支援と活動発展に寄与することができました。

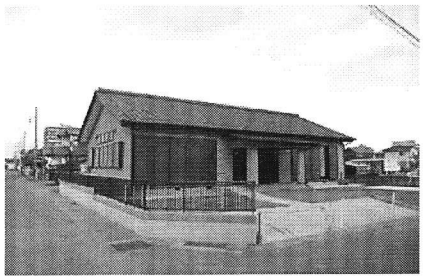
款	総務費	項	総務管理費

事業名	地域公民館整備事業				
施策の大綱名	市民と行政が一体となった協働のまちづくり				
決算額	67,970千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	67,970千円

【施策の概要】

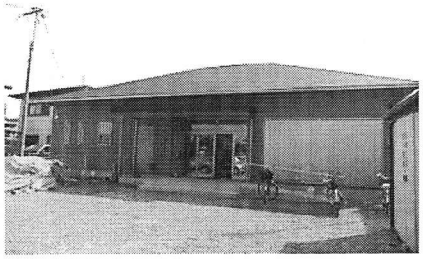
地域住民の連帯感やコミュニティ意識の高揚を図るため，地域コミュニティ活動の拠点となる地域公民館の新築，修繕等に対して補助を行いました。　（単位：千円）

町内会名	件　名	補助金額	区分
田中三丁目町内会	田中三丁目公民館用地取得及び新築	20,000	新築
大町町内会	大町会館新築	20,000	新築
右籾三区町内会	右籾三区公民館新築	20,000	新築
湖北一・二丁目町内会	湖北一・二丁目地区公民館修繕	2,910	修繕
右籾四区常盤会	右籾四区ときわ児童館修繕	1,610	修繕
大岩田一区町内会	大岩田一区公民館修繕	3,450	修繕
合計	6件	67,970	

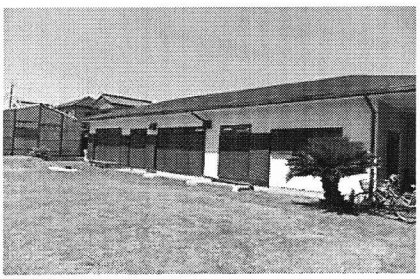


田中三丁目公民館（新築）
所 在 地：田中三丁目1749-6
構　　造：木造平屋建
延床面積：140.77㎡
用地面積：327.00㎡

大町会館（新築）
所 在 地：大町1162-1
構　　造：鉄骨造2階建
延床面積：211.25㎡



右籾三区公民館（新築）
所 在 地：右籾3018-1,-3,-5
構　　造：鉄骨造平屋建
延床面積：190.46㎡



湖北一・二丁目地区児童公民館（修繕）
所 在 地：湖北1-8-19
構　　造：木造平屋建
修繕箇所：屋根改修・壁面，床補修・基礎補修・内装改修など

右籾四区ときわ児童館（修繕）
所 在 地：右籾1681
構　　造：鉄骨造一部2階建
修繕箇所：屋根洗浄塗装・外壁補修・内装改修・給水設備など

大岩田一区公民館（修繕）
所 在 地：大岩田1795
構　　造：木造平屋建
修繕箇所：屋根吹替え・室内改修・床改修・外壁補修など

【施策の成果】

地域コミュニティ施設の整備により，地域住民の連帯感及びコミュニティ意識が醸成され，更なる地域コミュニティの活性化が期待されます。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	防犯カメラ設置事業					
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり					
決算額	12,600千円	財源内訳	国県支出金等	11,000千円	一般財源	1,600千円

【施策の概要】

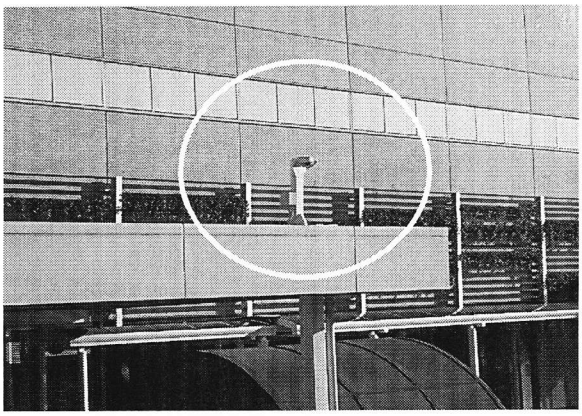
犯罪等の発生抑止を図り，市民が安心で安全に暮らすことができる生活環境を整備するため，駅など不特定多数の人が利用する公共の場所に防犯カメラを設置しました。

(1) 設置箇所　18か所

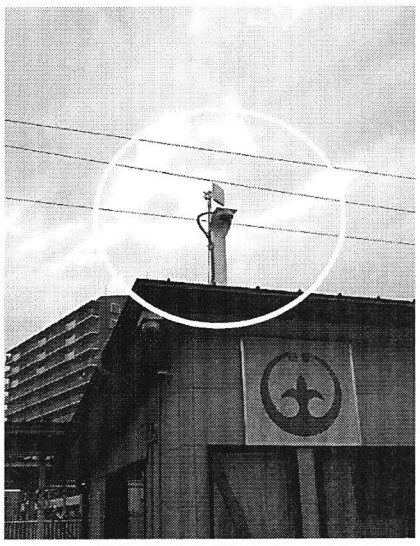
①荒川沖駅東口まちばん荒川沖屋根
②荒川沖駅東口自由通路支柱
③荒川沖駅東口第1臨時自転車駐車場
④荒川沖駅東口第2臨時自転車駐車場
⑤土浦駅西口ペデストリアンデッキ（ドームベランダ屋根）
⑥土浦駅西口エレベーター前天井
⑦土浦駅西口市営駐車場案内看板支柱
⑧桜町一丁目きらら通り電柱
⑨桜町一丁目富山人形店向かい電柱
⑩桜町四丁目ビジネスホテル小桜館向かい電柱
⑪川口二丁目ホテル東湖前電柱
⑫東崎町理容店（りんりんロード）前電柱
⑬匂橋先（桜町二丁目）電柱（2台設置）
⑭学園大橋下り線電柱（2台設置）
⑮西根南一丁目大房バス停脇電柱
⑯東若松町歩道橋脇電柱
⑰国体道路木田余ショッピングモール先電柱
⑱国体道路木田余立体橋階段付近電柱

(2) 設置台数　20台

(3) 設置金額　12,600千円



土浦駅西口ペデストリアンデッキ



まちばん荒川沖屋根

【施策の成果】

多くの人が利用する場所，往来する場所へ防犯カメラを設置することにより，犯罪等の発生抑止が図られ，安心で安全な生活環境の整備に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	地域防災計画見直し事業						
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり						
決算額	6,270千円	財源内訳	国県支出金等	5,985千円	一般財源	285千円	

【施策の概要】

東日本大震災の教訓や，国・県の防災計画の改定を踏まえて，災害対策基本法に基づき，「土浦市地域防災計画」の見直しを行いました。

［組織・会議の開催状況］

土 浦 市 防 災 会 議
（委員45人で組織）

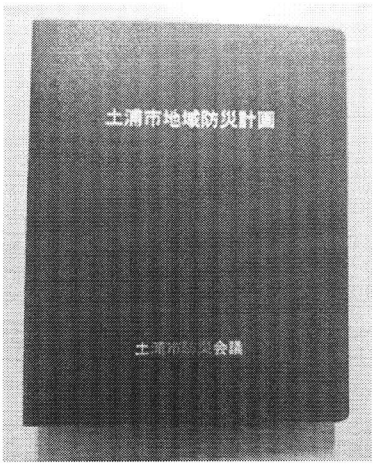
第 1 回　平成24年 8月28日（火）
第 2 回　平成24年11月26日（月）
第 3 回　平成25年 2月28日（木）

土浦市防災会議専門委員会	土浦市災害対策本部内検討部会
（委員25人で組織）	（委員21人で組織）
第 1 回：平成24年11月14日（水）	第 1 回：平成24年 8月22日（水）
第 2 回：平成25年 2月19日（火）	第 2 回：平成24年11月 7日（木）
	第 3 回：平成25年 2月 8日（金）

※ パブリックコメントを実施し，貴重な御意見をいただきました。

［見直しの視点］

1　避難対策の充実・強化
2　災害時要援護者対策の強化
3　共助，ボランティア体制の強化
4　家庭や地域，企業の防災力向上
5　災害対応体制の充実・強化
6　近年発生した災害への対応



［平成25年3月見直し完了］

新しい土浦市地域防災計画は，①震災対策計画　②風水害対策計画　③事故災害対策計画　の3部構成からなる本市の防災の指針となるものです。

作成部数は，300部で，災害時の避難所となる各学校などに備えるとともに，図書館など市の施設で閲覧できるほか，ホームページでも御覧いただけます。

【施策の成果】

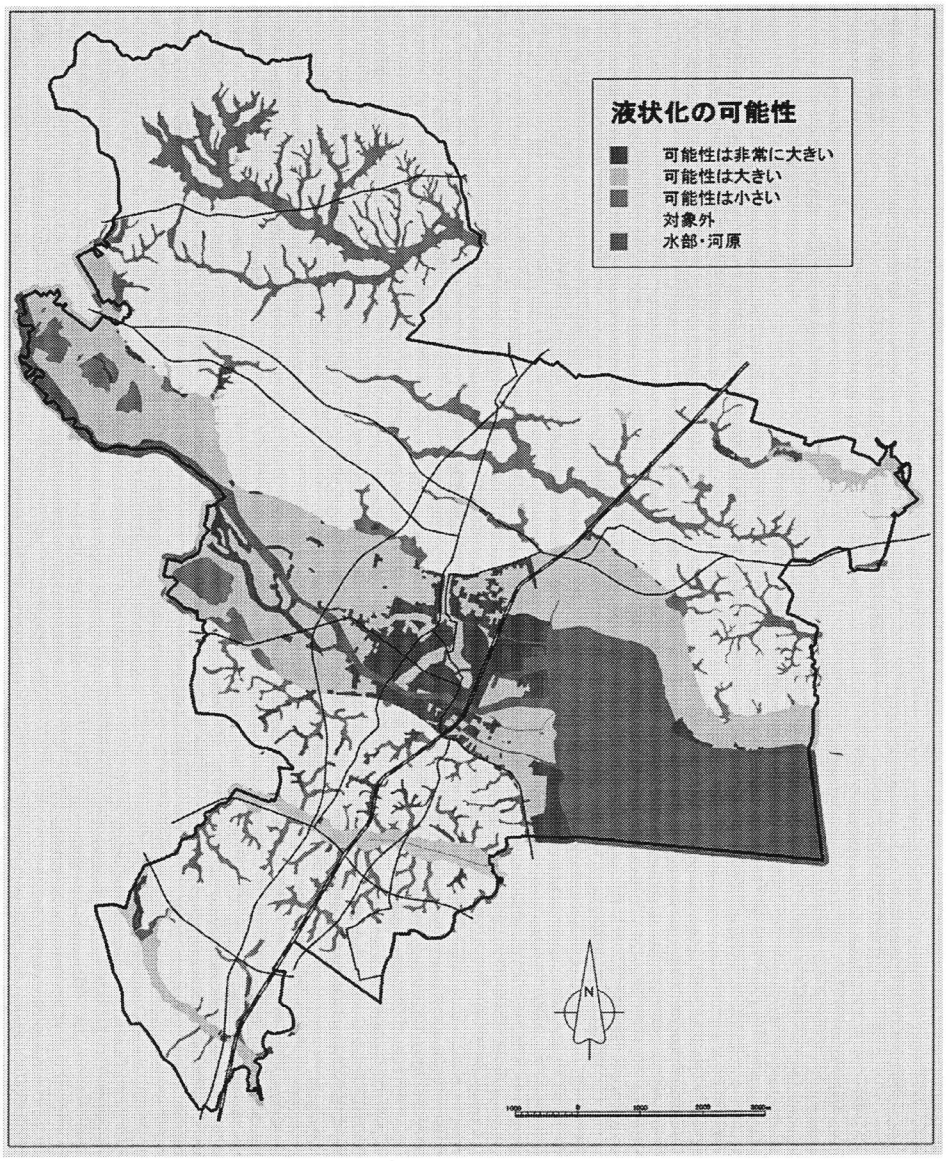
従来の防災計画に帰宅困難者や原子力事故，さらには，竜巻などへの対応を加え，対策を明確に位置付けたことによって，防災力が向上しました。また，災害時における職員の班別対応マニュアルも同時に作成したことにより，より円滑で実践的な対応が図られるようになりました。

款	総務費	項	総務管理費

事業名	液状化ハザードマップ整備事業					
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり					
決算額	3,885千円	財源内訳	国県支出金等	3,885千円	一般財源	

【施策の概要】

東日本大震災により発生した液状化による被害を踏まえ，土地利用の際の地盤調査を推進するとともに，地震発生後のライフラインの点検や二次災害の防止などを目的に，市内全域の液状化危険度マップを60,000部作成し，全戸に配布しました。



土浦市液状化危険度マップ

【施策の成果】

自宅周辺はもちろん，通勤・通学先などの液状化による危険箇所の確認にとどまらず，地震発生の際の避難経路の選定やライフラインの点検，さらには，二次災害防止などの「備え」の充実に寄与したほか，液状化を踏まえた防災意識の高揚が図られました。